

## 平成27年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：平成27年4月～平成28年3月

### 1. 学校概要

学校名 富山市立中央小学校

種別  保育園・幼稚園  小学校  小中一貫教育  
 中学校  高等学校  中高一貫教育  
 教員養成  技術/職業教育  
 特別支援学校  その他 ( )

住所 〒 930-0052  
富山市五番町4番35号

E-mail : toyama-chuo-es@tym.ed.jp

Website : http://www.tym.ed.jp/sc105/

児童生徒数：男子 209名 女子 190名 合計 399名  
 児童・生徒の年齢 6歳～12歳

### 2. 実施活動（複数選択可）

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- 国際理解
- 世界遺産
- 平和・人権
- 環境
- 気候変動
- 生物多様性
- エネルギー
- 防災
- 食育
- 伝統文化
- そのほか ( )

### 3. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容について記載願います。

#### 1年生

秋の公園、広場へ行き、生き物を採集したり、木の葉や木の実を拾い集めたりするなどの活動を通して、季節の変化を感じることができた。

また、拾い集めた木の実を利用したおもちゃ等を作って友達と遊んだり、幼稚園児や保育園児を招待し、こまやけん玉等の遊びを一緒に行ったりして、身近な人と交流する楽しさや自分の成長に気付くことができた。

#### 2年生

富山市ファミリーパークと連携し、農業体験をしたり獣医の仕事について話を聴いたりすることで、命（植物、動物）の大切さに気付き、命を預かる獣医の仕事の尊さを感じることができた。

また、自分たちの住んでいる中央校区の町探検に出かけ、町の人と関わることで、多くの人々に支えられて生きていることに気付くことができた。

#### 3年生

自分たちの生活と環境とのつながりを学び、自家用車の使用を中心とした生活を見直して公共交通を利用する意味を知った。公共交通の利用の仕方や未来の街づくりについても考え、実際に公共交通を使って出かける体験をして、公共交通を利用していくことの大切さを感じ取った。

#### 4年生

水と自分たちとのつながりを考え、自分の課題をもって追究を行った。校区の湧き水や家庭の井戸水、浄水器のよさや、校区を流れる川の歴史や人々との関わりを調べるなど身近な探検活動を行った。また、温泉や水公園を利用したり、ダムを見に行ったりした経験から、水と親しむことを意欲的に追究する姿が見られた。水という一つのテーマから、多面的に考え、水の大切さや怖さ、楽しさ等を実感できる学習ができた。

#### 5年生

高齢者疑似体験や特別養護老人ホームのプレゼンから、お年寄りが加齢によって、体が衰え、困っている実情を知った。清水町敬寿苑（老人ホーム）を訪問し、関わり方を考えながら交流を重ねることで、相手を知り、人に合った関わりをしていくことの必要性を感じていった。お年寄りには、知恵や器用さ等、学ぶ点が多くお年寄りへの見方を広げたり、自分たちの存在がお年寄りを元気づけることに気付いたりすることができた。相手を理解し、進んでできることをしていこうと考えることができるようになった。

#### 6年生

語り部の方から、富山大空襲の話や、地域の人々に戦争時の暮らしの様子を聴いたり、戦争時の校区の状況について調べたりすることで、子供たちは、先人たちの復興への努力を理解し、平和な校区をこれからも大切にしていこうとするようになった。

校区の産業や町名の由来等、校区の歴史について知りたいと思ったことを地域に残る本や地域の人々に話を聴いて調べ、自分の課題を解決していった。子供たちは、今まで自分の知らなかった校区の歴史を知り、自分の校区への愛着や誇りをもつようになった。

#### 中央っ子フェスティバル

1年生から6年生まで、生活科や総合的な学習の時間に取り組んできたことを保護者や友達に見てもらおう活動報告会を行った。子供たち一人一人が自分の1年間の学習をまとめたり、考えたりしたことを発表することができた。

(2) 活動時間について（下記から選択して下さい。）

- 通常の授業時間を使用（総合的な学習の時間を含む）
- 時間外活動の時間を使用
- ユネスコクラブの活動として実施
- その他（

）